ユネスコ無形文化遺産に日 間が集まり話し合う中で、

そんな危機感を持った仲

ら願い日々おもてなしに励

将たちも、その実現を心か

んでいることも付け加えて

強く感じるようになりまし 時代に突入していることも

もちろんのこと、

全国の女

生活スタイルの変化、

また

人の交流の仕方の変化など

その存続が危ぶまれる

感じています。

そこに、ぐんまの女将は

ことも特筆するべきことと 全国的に活動を進めている 化」が、自然環境の変化、 前にあった各地の「温泉文

ルとなる各温泉地が一つの

常に切磋琢磨し、ライバ

んの温泉1

00選」のベス

癒し湯」と言われ、「にっぽや、「神話に抱かれる天空の

ュー)」と呼ばれるイベント

に愛を叫ぶ(通称・キャベチ て、「キャベツ畑の中心で妻

目的に向かい一致団結し、

第3種郵便物認可

時「高温の湯の深い浴槽に

しかし世界に目を転じた

でもありました。

この、あまりにも当たり

の共生を図る「女将」

が

のユネスコ無形文化遺産登位、国単位で「温泉文化」

「おもてなし」をする場所

録を目指す機運が発展して

きたところです。

切り盛りし、

共に働く従業

立し

さらに自治体、

県単 を設

遺産全国推進協議会」 泉文化』ユネスコ無形文化

貝たちを守り、

地域社会と

みんなで浸かる」のは、

日

じる方は多いことでしょ もに元気を取り戻せると感 って深呼吸すると、心身と まざまですが、温泉に浸か 人の農山漁村の町です。

位置する、

人口約7400

大規模な旅館も無く、

釣り

当時の大紀町はホテルや

大紀町は三重県中南部に

「体験民宿」で魅力的な滞在型観光地

三重県観光の新

なチャ

レンジ

シップの下、観光関係予算でます。一見知事のリーダー取り巻く課題は多く存在した。

設のさらなる整備のほか、

動しました。

箱根·強羅

た「箱根・強羅

佳ら久」が建

開催しました。屋外エリア

いました

光協会と連携し、観覧イベ

ント『大文字焼

夜の宴』を

字焼」。当館では箱根強羅観の一つ「箱根強羅温泉大文

安全・安心な旅行先として

ばれるため、

上質な宿泊施

高付加価値旅行者から選

ます

など、三重県の観光を

インバウンド戦略を策定し

観光を支える方々の声を寄稿、インタビューを基にお届けします

で季節の料理を楽しむ」

「自分への褒美や記念日を

-など旅の目的はさ

た体を癒やす」

「地元食材

温泉地は目標に向かって一致団結を

群馬女将の会 会長

「いらい」

しゃいませ」と

Ŋ

全国旅館ホテル生活衛

もので、

私たち「群馬県嬬

たイベントから着想された

トつま恋で開催されて

恋村」は全く異なる。

ございました」とお客さまお出迎えし、「ありがとう

泉協会、日本旅館協会が民 生同業組合連合会、日本温

間の推進組織として「『温

った英雄ヤマトタケルの伝

むしろ、村名の由来とな

された「愛妻家の聖地」とし 説からインスピレーショ

をお見送りする毎日の中

で、その顔となって旅館を

「忙しい日常を離れ疲れ

日本が大好きな人、誰もがのみならず、日本に住む人、

記事が多くなると、日本人

旅行誌などで温泉特集の

温泉旅の計画を考えるはず

(温泉三昧の宿 四万たむら 女将)

食べる」

「急須で入れたお

糸を飲む」

など、日本古

泉地が地道な活動を続けて する会」を発足させ、

まいりました

その活動が徐々に広が

膳に出された和食をお箸で

に布団を敷いて眠る」

「和室の畳の上

るための最善の方策と「群

「キャベツの産地」や、学生の頃に教科書で見た

信越高原国立公園によって

見るものを魅了する絶景、

00万人をピー

クに減退の

本来であれば観光地として

い「キャベツ」やその畑と上泉、さらには日本一と名高

こした新型コロナウイルス

だった。さらに足元を見れ

1993年の来訪客3

と聞くと、

嬬恋を未来

、 紡ぐ

ることがその保護と、

本の「温泉文化」を登録す

馬県から温泉文化のユネス

コ無形文化遺産登録を実現

を思い起こす方がいるだろ

川市にあったヤマハリ

このポテンシャルが「世の認知がもっとあっていい

のポテンシャルが「世

地域は疲弊していた。

盛り上がっていたであろう はスキーや別荘のブームで 一途をたどっており、当時

しかし、後者は静岡県

「フォークソングの聖地」

が体験できる場所でありま 来の生活様式、日本の文化 る候となりました。

夕秋が深まってきたと感じ日が少しずつ短くなり朝

と知りました。

日本の「温泉文化」を世界に広めよう

を進めていたこともあり、

ていきました。

VOICE

性化協議会を立ち上げまし部組織として大紀町地域活 平成25年大紀町商工会の下 や関係人口の増加を図り、 紀町の経済を活性化するた いという思いが強くなり、 地域の消費拡大につなげた より都市部からの交流人口 滞在型観光事業等に

た。同時に、何とかして大 会長に平成24年就任した当 てしまう危機感を覚えまし ままでは地域経済が疲弊 ている現実に直面し、この **上会会員の事業者が廃業し** 足等により毎年10~15の商 そんな小さな町の商工会 少子高齢化や後継者不

「幸福」を感じる も りを目指して

一般社団法人大紀町地域活性化協議会 奥川 拓氏

ちょうど平成28年に三重 ています。 はなく、地域住民も含まれ 事業者、観光事業者だけで このホストには、

からの訪日教育旅行の誘致 ゲットとする方向に変わっ 教育旅行や団体旅行をタ うな小さな町も海外からの 県が海外から注目を集める 摩サミットを契機に、三重 こととなり、地方のこのよ 県で開催されたG7伊勢志 また当時三重県庁が台湾 のある大紀町らしい観光地 観光客(ゲスト)と地域(ホ 資源を守りながら未来へつ が一体となって観光地域づ 住民·観光関連事業者·行政 の認定を目指して 今年度中に「JSTS なぐ観光」を実現し、訪れる くりを進めることで、「地域 D」、来年度中に「GSTC」 スト)の双方にとって、価値 います。

ことで、 漁業事業者や団体と連携し 20軒に増やし、町内の農林なかった体験民宿をまずは 無縁の町でした。 体験コンテンツを造成する 業の促進を重点事業に掲げ た新たな観光産業の構築を 備投資もせずに開業できる が数件あるだけの観光とは 宿や昔ながらの小さな

旅館 「験民宿)」 に着目し、 体「農林漁業体験民宿(以下、 民宿による滞在型観光事 その頃大紀町に1軒しか そこで、自宅を活用し設 地域が一体となっ 行や団体旅行の受け入れが 的にスター 観光地域づくり』 のコンセプトは『ゲストも 在に至ります。 年々増加し、体験コンテン アジアを中心に訪日教育旅 ツも充実することとなり現 ホストも「幸福」を感じる 当初から滞在型観光事業 順調に台湾や中国等の東

域づくりを進めるために、 今後も持続可能な観光地

いと思います。
域づくりを目指していきた

湾への海外セールスを本格私たちも平成28年度から台 しました。 宿や体験 であり、 鈴鹿サ ら出向し、三重県観光部長本年7月に国土交通省か 史的な観光資源に加え、英野古道、伊賀の忍者など歴 さまのお力をお借りして精 また全国の観光関係者の します。 に就任しました。三重県内 杯がんばってまいります 三重県は、伊勢神宮や熊 よろしくお願いいた

所です。 酒をはじめ食の面でも旅行 虞湾など美しい自然、また、 者を魅了する資源豊かな場 めり、海の幸や松阪牛、地に注目を集める施設も多く しかしながら、旅行者の キットなど世界的

(令和6年)と全国平均の平均宿泊日数が1・21泊

前(令和元年)と比較してい数(令和6年)がコロナ禍に数(令和6年)がコロナ禍に 6割程度にしか回復してい

持続可能な観光を推進

三重県 観光部 塩野 進氏

観光行政としては、質がたが、ここでさらなる加速でが、ここでさらなる加速でがが、ここでさらなる加速でが、というないでは、質がたが、ここでさらなる加速である。 けでなく、成田国際空港や空港から入国する旅行者だ 関西国際空港から入国しゴ 立を進めてまいります。特進、魅力的な観光産業の確 に海外向けには、 戦略的な観光誘客の推 持続的な観光地づく 中部国際 の豊富さに圧倒されていま 現場の力が最も大事。三重 の方とお会い 内のさまざまな観光関係者 イドの育成も進めます。 伝えることができる観光ガ 防災の取り組みも重要で 選んでいただけるよう観光 7月の着任以来、三重県 観光は旅行者と接する また、三重県の魅力を し、その人材

旅館リゾー

トを周遊する 推進するため、必要なコーームとしての三重県観光を 県観光部は事業者の皆さ いります。 ディネーター役も務めてま 市町の皆さまとワンチ

みを積極的に進めます。重 向けた認知度向上の取り組 一の活用等を通じて個人に に 行う市場の明確化も含め 点的にインバウンド誘客を けつつ、持続可能な観光を だけでなく日本の観光全体 援を心よりお願いいたしま 者の皆さまのご助言・ご支 になると考えています。読 にとって大きなチャレンジ 推進する。これは、三重県 オー バーツー リズムを避

・43泊を下回る状況にあ

大や産業観光の推進等による福利厚生旅行の受け入れ拡大す。また、フランスからのない。

FITの取り込みに

る団体客の取り込みだけで

て、SNSでの情報発

ら取り組みを包含した

30常連でもある万座温 バンデミックを引き起

地域を支える "観光、でありたい

一般社団法人 嬬恋村観光協会 三ツ野 元貴 氏

き、パルコール嬬恋リゾーのパウダースノーを堪能でいのパウダースノーを堪能でいる。 井沢や草津温泉、さらには、駐り立て、2016年に移っ のため人のため、人生楽し 移ろう春夏秋冬の色彩グラ 善光寺や八ッ場ダムにもア さを誇るなど関東ながらス クセスが容易で、標高し 大自然の雄大なスケー ション、さらには東京 ジンドラは関東一の長パルコール嬬恋リゾー を楽しむことができ、 をモット ーにする私を ルで 8 一 り、また受け入れる、これであれる人たちは笑顔になって訪れる人たちは笑顔になっています。 があるのだろう」と改めて、 身も心も重たい 光の醍醐味であり、観光協 の人に出会い、 のサイクルを回していくた 会は地域と一丸になってこ も元気になれる、これが観り、また受け入れる人たち 体験をする、これらによっ くさんの土地を訪れ、幾多 ない素顔、 限され、マスク越しで見え 考えさせられた。移動が制 「何のために、観光協会 **車たい。やはりた** 、笑顔がなくなり いろいろな

ができるだろう、 そう思っ 生を明るく楽しく彩ること の観光素材で多くの方の人 見込める、よりどりみどりに近くインバウンド需要も 大規模土砂災害と未曽 9年台風19 題を抱えるなか、『観光』業の先行きなど、多くの課 泉スキー場の大規模盗難、 が果たす役割を全うして コスト高によるキャベツ産 吾妻線の存続危機や万座温 る めの歯車になる必要があ その想いを胸に、

> 決策が注目されています。 います は、2次交通の脆弱性で彫りになっています。それ 難にし、「行きたい場所に行 す。路線バスの減便やタク 抱える構造的な課題が浮き 戻り、多くの観光地ににぎ ェアモビリティ」という解 経済の機会損失に直結して さまの満足度を下げ、地域 けない」という体験は、お客 ら先の目的地への移動を困 で、多くの地方が共通して わいが生まれつつある一方 アフターコロナの活気が この課題に対し、近年「シ ・運転手の不足は、駅か

次世代モビリティが課題解決

HelioX 代表取締役CEO Bing Han氏

回収、充電、そして元の場所課題は「充電」です。車両の ビリティステーションにな 光施設の駐車場がすぐにモ 開発を進めています。日当 光で自らエネルギー トも、 他なりません。私たちHe チです。その鍵を握るのは、 をなくす」というアプロシ ば、宿泊施設の玄関前や観 たりの良い場所さえあれ あるソーラーモビリティの 太陽光エネルギー いのが、「充電作業そのもの い、充電作業が一切不要で そこで私たちが提案した 10Xは、駐車中に太陽

の活用に · を 賄 ができるのです。 源だけにとどまりません。 動デ 消費活性化につなげること

動体験を提供できます。 お客さまに自由で快適な移 もてなしに集中しながら、 お をもたらす。太陽エネルギ そして地域には新たな活気 能な形で解決し、お客さま には新しい旅の楽しみを、 ーを核とした自律的な交通 地方の交通課題を持続可

トから解放され、

いらず」が拓く地方観光 の未来

「充電

のための人件費や電力コス え人手不足に悩む現場にと って大きな負担であり、そ 値と言えるでしょう。 安全・安心を守る新たな価 となります。これは地域の 域住民のスマー 充電するための非常用電源 トフォンに

の地道な作業は、ただでさ への再配置。こうした日々

、決して無視できませ 将来的には、お客さまの移 を描くことが可能になりま らす価値は、移動手段や電 用し、より高度な観光戦略 次世代モビリティがもた タを匿名で分析・活

す。例えば、どの時間帯にど 遊データに基づいた新たな 把握し、お客さまを空いて のスポットが混雑するかを 体験型ツアーを企画したり と、地域全体の魅力向上と いる名所へ誘導したり、周

ります。運営の手間とコス 、本来のか

に突き当たります。最大の 光地では運用上の大きな壁 いるこのモデルも、地方観 しかし、都市部で成功して

投資ではないでしょうか。 そが、これからの観光地経 なって育てていく。それこ

エンス、すなわち災害への

加えて、観光地のレジリ

システムを、地域が一体と

対応力向上にも貢献しま

えた電力は、お客さまや地

旅館が取り組む地域共創活動 の湯けむり、そして坂道を 目を迎えた、箱根三大祭り

いました。豊かな自然、温泉り、年に1度、家族で訪れて会社は強羅に保養所があ かしい記憶が蘇ってきまし TELS&RESORTS 強羅駅から徒歩約3分の立 務していた「箱根・芦ノ湖 周辺を歩いた時に不意に懐 るこの地に転勤し、強羅駅 気品ある文化の流れを感じ が展開するラグジュアリ 地にあり、ORIX はなをり」から、開業目前の -号館です。山海に囲まれ 2020年10月に開業し 2020年8月、当時勤 幼い頃、祖父の勤務する ト「佳ら久」の第 佳ら久」へ異 佳ら久」は、 H O 縁をつなぎ、強羅の魅力を伝え 地域活性へ 箱根・強羅 佳ら久 セールス&マーケティング課 夏実氏 ジメントが運営する全国の が、なんとその跡地にこそ でになくなって 域に強い縁を感じました。偶然に私は、強羅という地 てられて 「箱根·強羅 覚えています。保養所はす 家族で歩いた風景を鮮明に オリックス・ホテルマネ いたのです。この

躍するフラワーアーティス

トによるライブパフォーマ

焼の点火前には、世界で活 げるイベントです。大文字 祭典を地域とともに盛り上 を開放し、箱根の伝統的な

ンスを「水のテラス」で実施

しました。明星ヶ岳で刈り

安定的なファンづくりに貢ともに、箱根・強羅エリアの や自治体との連携により、 届けすることで、地域経済 じて強羅の新たな魅力をお 文化、自然に触れる体験を る自然や伝統が心の琴線に 開業以来「箱根・強羅に伝わ 注力しています。当館でも、 掘し、発信する取り組みに 地域の新たな観光資源を発 ェクト」として、地域の企業 献することを目指していま 提供しています。当館を通 触れるひととき」をコンセ 施設では、「地域共創プロジ に潤いを生み出し続けると し、強羅ならではの歴史や トに地域共創活動を推進

ど、強羅の魅力を多面的に、

を花材の一部に使用するな 取り・乾燥された箱根女竹

そして個性的にお届けしま

います。 る施設として地域活性化に に、強羅という地の自然、文 貢献していきたいと考えて ながら、強羅の魅力を伝え 化、人々と丁寧に向き合い 今後もこのご縁を大切

直接交流する機会になりま

いただき、地域の皆さまと

会の来賓の方々にもご参加

トのほか、箱根強羅観光協イベントには、宿泊ゲス

今年8月16日に104回